



【報道関係各位】

2020 年 1 月 14 日

Tranzax 株式会社

STANDAGEと貿易事業者向けサービスにおいて提携

～ブロックチェーン技術と電子記録債権で中小企業の国際取引を促進～

Tranzax 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大塚 博之、以下 Tranzax）と株式会社 STANDAGE（本社：東京都港区、代表取締役社長：足立 彰紀、以下「STANDAGE」）は、国内の貿易事業者に向けたサービス提供における連携を目的とし、業務提携に係る契約を締結しました。

Tranzax が提供する電子記録債権を活用した「P0 ファイナンス[®]」*と STANDAGE が提供するブロックチェーン技術を基盤とした企業間貿易のためのエスクロープラットフォーム「Shake Hands Contract」（以下「SHC」）*を融合させた、これまでにない新たなファイナンスサービス（以下「本サービス」）を共同開発し、このたび第 1 号取引を実行しました。

なお、本サービスを取り巻く金融規制については、アンダーソン・毛利・友常法律事務所による法務面の監修を受けております。

これまで、リスクを伴う対新興国向け輸出事業や、少額貿易決済における課題に対しては、STANDAGE が提供する SHC にて解決を図って参りました。

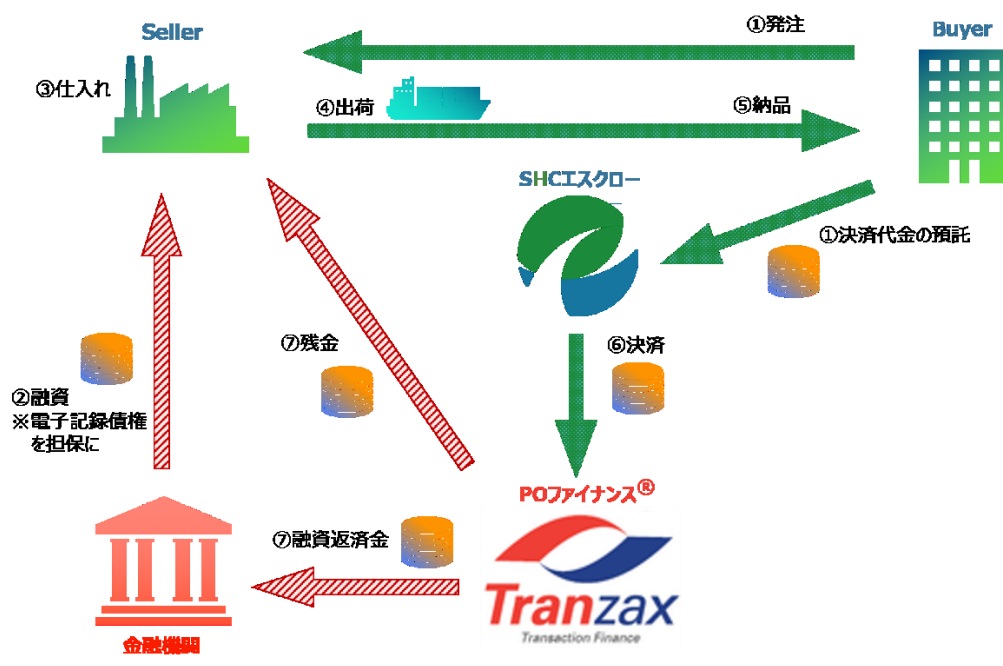
しかし、海外企業との取引における売掛金回収には数ヶ月を要するのが一般的であり、その間に生じる仕入代金の支払等、中小企業やベンチャー企業は資金面において相応の体力が求められるのが現状です。

そのため、中小企業やベンチャー企業が海外企業との取引を拡大させるためには、資金面における課題解決が求められていました。

本サービスは、SHC にて取引の透明性と安全性を担保し、決済に使われるデジタル通貨と受発注を裏付けに電子記録債権を発生させ、担保価値を確かにする事で、海外企業からの受注時に中小企業やベンチャー企業の金融機関からの資金調達を支援することを可能にします。

本サービスの展開により、中小企業やベンチャー企業における貿易をリードし、わが国の成長戦略（ソサエティ 5.0）の実現を担います。

[Tranzax×STANDAGE ファイナンスサービス イメージ図]



*PO ファイナンス® :

受注したという事実とその内容をもとに電子記録債権を発生させこれに譲渡担保を設定することで、受注時点からの融資を可能にするサービスです。

*Shake Hands Contract (SHC) :

ブロックチェーン技術を用い、決済にデジタル通貨を利用することで、銀行や現金を介さずに、貿易代金のエスクロー・決済を、“安全”かつ“低コスト”で行うことができます。



■STANDAGE について

2017 年 3 月設立。2019 年 4 月「SHC」β 版にて、日本-ナイジェリア間にて実証実験を開始。2019 年 7 月に、新興国・発展途上国の社会問題解決につながる中堅・中小企業の海外展開を支援する経済産業省補助事業「第 5 回 飛び出せ Japan! 世界の成長マーケットへの展開支援補助金」に採択され、現在アフリカの現地パートナー機関と共同で、SHC の実証と認知、普及活動に取り組んでいます。

SHC サービス公式サイト：<https://shakehandscontract.com/>

■Tranzax について

2009 年 7 月設立。電子記録債権を活用し企業活動と商流が見える化することで、利便性が高く革新的なサービスを提供しています。『P0 ファイナンス®』の特許を保持（特許第 6140909 号、第 6427247 号）。P0 ファイナンス®は、2019 年 4 月に中小企業庁の『ものづくり補助金』のつなぎ融資として採用され、さらに 6 月には令和元年度成長戦略の中に盛り込まれました。

公式サイト：<https://www.tranzax.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

Tranzax 株式会社 業務推進部 澤田 史彦 03-5510-8079

東京都港区虎ノ門 1-12-9 スズエ・アンド・スズエビル 6 階

HP お問い合わせ画面 <https://www.tranzax.co.jp/contact.php>